



# 衣川台なまず通信

2023年 10月号

発行：衣川台自主防災部

## 特集：衣川台 自主防災部の活動

衣川台にお住いの皆さま、平素より自主防災活動へのご協力ありがとうございます。今年度の防災訓練はコロナが2類から5類の取扱いになったことをふまえての防災訓練を実施することができました。新安否確認システムの定着に加えて、救出救護を住民の方と協力して行える事を目指して実技の訓練も行いました。種々の課題が見えてくる中、少しずつですが成果も現れてきたと考えております。今回は、総会時に報告しました自主防災部の活動について、さらに細かくご紹介します。

### (名称)第1条

自主防災組織の名称は、衣川台自主防災部と称する。

### (目的)第2条

防災部は、**衣川台の地域住民が連帯協同して**、自主的な防災組織として、火災、地震、風水害その他の災害による被害を未然に防止または被害を軽減することを目的とする。

(衣川台自主防災部規約より)

自治会は単年ごとに役員が変わる為、知識・技術・理念を積み上げていくことが難しい。そのため、自治会と別組織として継続して活動するメンバー自主防災部を発足(平成17年)した。

代表的な活動としては、下記のもの挙げられます。これらを少し具体的に説明させていただきます。

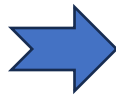
1. 自主防災活動を行うための組織作り
  - ① 平常時と災害時での自治会との連携
  - ② 防災計画の作成
  - ③ 定例会議の開催
2. さまざまな防災活動
  - A) 住民への防災知識の普及と防災意識の啓発
  - B) 減災の取り組み
  - C) 防災訓練

## 1. 自主防災活動を行うための組織づくり

### ①【平常時と災害時での自治会との連携】

住民と一番近い位置にいるのが各組長。災害時は住民の安否確認など自治会との連携がかかせません。

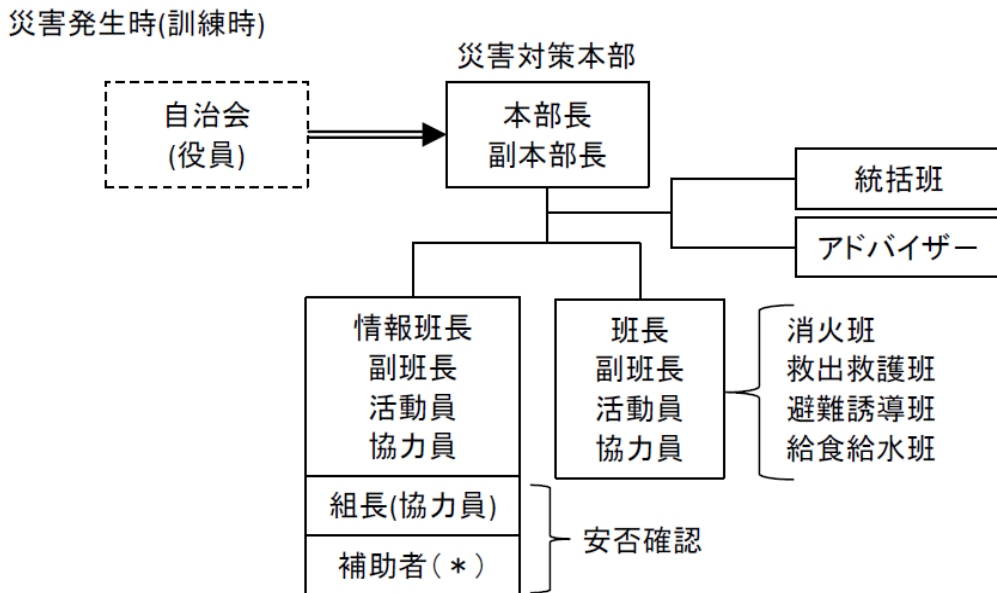
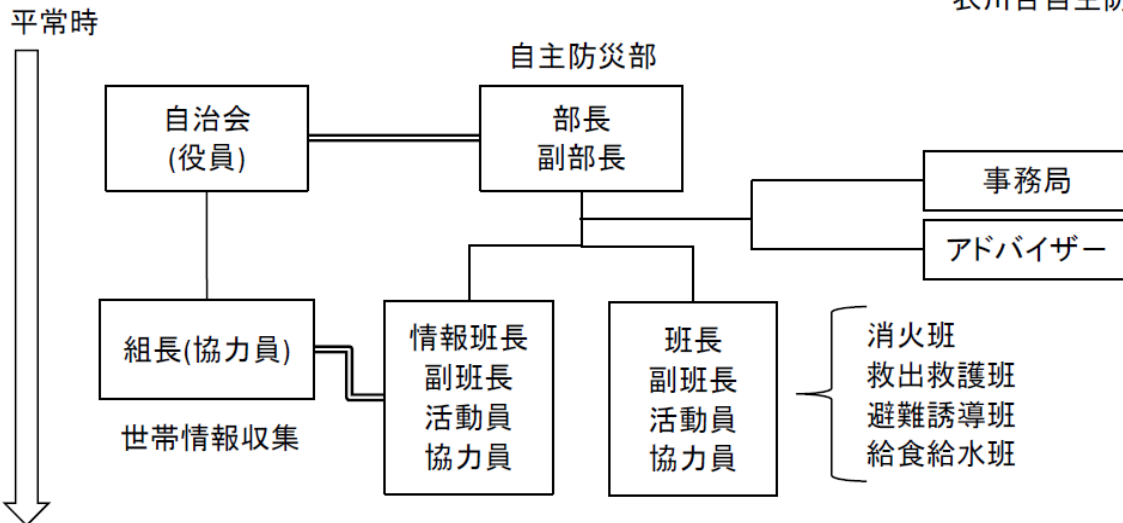
**平常時**  
 自治会からの入居者・転居者の  
 情報提供を元に、情報班が  
 安否確認シートを最新データに修正



**地震発生時**  
 自治会長→災害対策本部 本部長  
 環境部長→ // 副本部長  
 組長・前年度組長→安否確認シートで  
 各組をチェック、災害対策本部に提出

《別紙4》 自主防災部と自治会の組織関連図

2021年12月5日 改正  
 衣川台自主防災部 事務局



補助者(\*) : 前年度組長、組長の近隣住民で組長から補助を頼まれた方、  
 自主防災部の初動要員として各組に派遣された部員。

②【防災計画 防災計画別紙 の作成】

平常時と災害時の自主防災部での動きについて防災計画 防災計画別紙にまとめ、衣川台自治会ホームページで誰でも確認できるようにしています。

ぜひ、ご確認ください。

### ③【定例会議の開催】

年10日程度、南自治会館にて、自主防災部事務局と、情報班・消火班・救出救護班・避難誘導班・給食給水班の各班長・副班長及びアドバイザーが参集し、防災訓練の準備や減災の為の環境整備・資機材の確認などを話し合います。



## 2. さまざまな防災活動

### A)【住民への防災知識の普及と防災意識の啓発】

○組長や住民への防災訓練の説明会

○年数回発行の『なまず通信』にて

災害時にどのような動きをすれば良いか等知識の普及に努めています。

第1回 説明会の様子



## 衣川台なまず通信

2022年10月号  
発行：衣川台自主防災部

### 特集：第2回防災訓練に向けて

衣川台にお住いの皆さま、6月12日の第1回防災訓練においてはコロナ禍の中、多数のご参加ありがとうございました。新たな安否確認システムでの実施で、課題も多々見つけたり有意義な訓練であったと考えております。課題を少しずつ解決し、新安否確認システムを改良しながら定着するために、11月13日(日)に第2回防災訓練を予定しております。自主防災部の活動においても、多くの課題が見つかっており、防災訓練の回を重ねることで有事の際にきちんと行動できればと考えております。

#### 内容

1. 自助・共助・公助における安否確認の位置づけ
2. 前回(6月12日)の防災訓練の振り返り
3. 第2回(11月13日)防災訓練へ向けて
4. その他ご連絡

## B) 【減災の取り組み】

### ○防災安全パトロール

毎年5月、自主防災部と自治会組長とで住宅内を歩いて防災安全パトロールを実施しています。衣川台内で道路やガードレールの破損など危険な箇所がないか見て回ると共に、住宅内に設置されている定置消火器ボックスや消火栓の安全点検も行い、火災の時に消火設備が正常に使用できるようにしています。



### ○定置消火器の設置

衣川台の45か所に消火器を設置し、毎年4本ずつ入れ替えをしています。防災訓練とは別に、消火訓練も毎年実施しています。



## C) 【防災(避難救出救護)訓練】

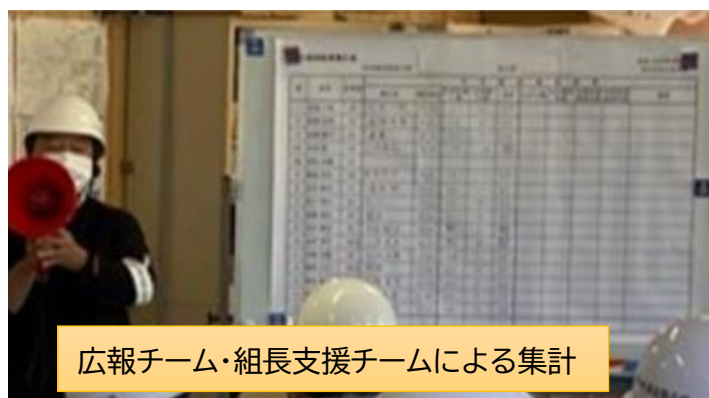
### ○安否確認訓練

### ○本部立ち上げ訓練

毎年6月と11月の年二回、防災訓練を実施します。



防災本部



広報チーム・組長支援チームによる集計



救出救護班による簡易ベッドの組立

11月には仰木の里学区自主防災会と連携し、メーリングリストを用いた通信訓練と、避難誘導訓練も実施します。

以上、衣川台自主防災部の活動紹介でした。

衣川台も他の地域と同様、住民の高齢化・自主防災部役員の高齢化を迎えています。その状況において、実際の災害時にどの程度、住民の共助による助け合いが機能するのか不安を抱えながらの活動ではあります。しかしながら、繰り返しになりますが、だからこそ以下の原点に立ち返る必要があると考えています。

#### 衣川台 自主防災部 規約

##### (目的)第2条

防災部は、**衣川台の地域住民が連帯協同して**、自主的な防災組織として、火災、地震、風水害その他の災害による被害を未然に防止し または被害を軽減することを目的とする。

→高齢化していても 担い手が減ろうとも 災害は手加減をしない。

共助を大切にしながら 自主防災部の活動に取り組みますのでご協力をよろしくお願いいたします。

少しでも構いませんので、一緒に活動していただける方を常時募集しております。拘束時間はほとんどありませんので、可能な方はお近くの自主防災部員にご連絡お願い致します。自主防災部からもお願いに参るかもしれませんが、その際はご一考お願い致します。

## 第1回防災訓練の振り返り

昨年度から防災訓練は、新安否確認システムによるスムーズな安否確認をテーマとしておこなっております。6月に実施した防災訓練の重点目標は、次の通りでした。

**黄色い安全確認旗を共助単位\*)で確かめましょう！**

⇒ 安全確認旗の掲示+ご近所の状況確認

(訓練当日の安全確認旗の掲示あるいはインターフォンでの確認が困難な場合は、事前に安全確認旗の掲示をお願いします。)

\*) 共助単位とは、この場合、向こう三軒両隣のことです。

(自主防災部としては、安否確認シート上で、お宅の上下2世帯を、お互いの安否を確認しあう単位としています。)

黄色い安全確認旗の設置は、“こちらは、全員無事です”という情報発信です。実際の有事においては、

- 完全に揺れが収まるまでの安全の確保
- ご自身やご家族の安全の確認
- 安全に歩けるか？ スリッパを使用するか。
- 出火していないか？ 電気・ガス・水道はOKか。
- 震度や周囲の状況は？ 震度5弱以上か。
- とりあえず、我が家は平気そうだ…

等々の確認をおこなった上で、安全確認旗を設置することになると思います。そうです…“共助”への第一歩です。これにより、組内の安否確認作業者はチャイムを押さなくても、あなたの無事を確認できます！

ただ、上記のようなご家庭内での確認作業を通じて、

- ご近所で出火されていないか？
- お隣のお年寄りはお無事だろうか？

等々が気になると思います。そこで、

- ✓ 向こう三軒両隣の安全確認旗をチェック！
- ✓ もし設置されていなければチャイムして確認！
- ✓ 組内の安否確認作業員へ報告！

していただくと、皆さんの安否を迅速に確認できます。

安否確認訓練は、これらをイメージしながらのトレーニングという位置づけです。

### 【訓練状況、反省および次回訓練に向けて】

雨天にもかかわらず、組長さん及び前年度組長さんは迅速に行動して下さいました。また、自主防災部員も昨年度より参集が良く、サイレン音による広報活動や組長支援チームもスムーズに出発できました。

一方、雨天により訓練中止？ではないかという思い込みからか、黄色い安全確認旗の掲示が少し遅れていたと感じました。とはいえ、有事の際は自助活動に時間がかかるので、訓練では安否確認開始のタイミングも調整すべきという声も聞かれました。

安否確認作業ありがとうございます。



本部での安否確認シート提出ありがとうございます。



自主防災部 訓練終了後のまとめと反省会



### 【組長さんと自主防災部対象の防災訓練第2部】

(コロナ禍明けのため、訓練対象を絞らせていただきました。)

大津北消防署、堅田看護学校の皆さま、大変ありがとうございました。



黄色い安全確認旗の掲示率(訓練参加世帯に対する旗掲示世帯の割合)は、前回の訓練から72%⇒75%と微増しました。当日の雨天を考えると悪くないかもしれませんが、組長さんからの報告には、安否確認開始時は掲示されていない世帯が多かったが、チャイムしながら確認していくうちに増えていったというものもあり、大きな改善とは言えないようです。

各組の安否確認をおこなってくださった方々を中心に、アンケートを実施いたしました。貴重なご意見、ありがとうございました。次回の防災訓練の参考にさせていただきます。いくつか、紹介させていただきます。

強い雨のため、防災訓練は中止かも???

安否確認開始のタイミングが早すぎないか?

共助の姿はあまり見られなかった

説明資料は、もっとポイントを絞って!

常時在宅でない世帯への対応は?

昨年よりはスムーズに実施できた  
住民の方々も協力的であった

(お詫びとお願い)

本来の安否確認シートは、空き家等の確認対象でないお宅は表示していません。(これにより、上下2軒ずつの向こう三軒両隣の共助単位が明確になっていました。)ところが、防災訓練前に配布した安否確認シートは全ての宅地を表示して、混乱をきたしました。誠に申し訳ありませんでした。あらためて、更新版を配布させていただきます。その際は、安否確認シートの差し替えおよび所持されているシートの廃棄をお願い致します。

以上